

竹工芸 ～伝統とは挑戦なり～

実施日：平成30年3月1日～3月9日 於：ノルウェー，ロシア（サンクトペテルブルク）

■派遣専門家



四代目 田辺 竹雲齋
竹雲齋工房 代表

約120年続く竹工芸家に生まれ、東京芸術大学、大分県竹工芸訓練支援センターを経て、2017年に四代目田辺竹雲齋を襲名。米メトロポリタン美術館を始め、各国の美術館で展覧会を開催、作品も多数所蔵。代々受け継いだ伝統の技術・精神を元に、竹によるインスタレーション*や現代性の強い立体作品を制作。時代に合った新しい挑戦を次の伝統へ繋げています。

*空間全体を作品として体験させる表現技法

■事業概要

●ノルウェー（オスロ）



ノルウェー国立美術アカデミーでの講演



ノルウェー国立美術アカデミーでのワークショップ



ワークショップで制作した作品を抱えて

●ロシア（サンクトペテルブルク）



サンクトペテルブルク植物園でのワークショップ



参加者による作品の発表



シティグリッツ記念国立芸術・産業アカデミーでの講演

■実施結果

竹工芸家の四代目田辺竹雲齋さんが、ノルウェー、ロシアを訪問し、講演とワークショップを行いました。講演では、日本固有の文化で生活の一部である竹工芸の歴史、明治から続く田辺竹雲齋代々の作品、技術継承の課題や御自身の挑戦を紹介し、講演後も多くの質問がなされました。ワークショップでは、「世界に1つだけの花籃」を制作。竹の種類や日本独特の竹の技術を紹介し、竹編みの材料づくりや編み方を実演。ほとんどの参加者が初めて扱う竹で自らコンセプトを考え、思い思いの作品を作り上げました。各講演地や国立エルミタージュ美術館での展覧会・インスタレーション開催の要望が寄せられた他、工芸品の輸入業者や日本庭園の建設を考えている参加者もあり、竹工芸及び素材としての竹そのものに対する関心を高め、理解を深めることに繋がりました。